

年 組 名前：

イスラエル人女性
富士山の歴史学ぶ
富士北麓地域団体が企画
イスラエルのインフルエン
サー、オシエル・ペルオさん
(22)は20日、富士河口湖・県立
富士山世界遺産センターを訪
れ、富士山の歴史を学び、登
山で使う金剛づえに焼き印を
押す体験などをした。写真。
イスラエルを中心とした世
界各国に富士山や富士北麓地
域の良さを発信してもらおう
と、同地域の活性化に取り組
む「富士山ごえん会」(堀内
潤一さん主宰)が企画した。
行衣をまとったオシエルさ
んは同センター担当者の案内
のもと、行衣が富士山に登る
正装だったことや、日本人が
富士山に畏敬の念を抱いてい
たことなどを学んだ。金剛づ
えに焼き印を押し、富士山形



の紙に絵を描いて缶バッジも
作った。オシエルさんは「体
験は素晴らしいかった。イスラ
エルの人にもっと富士山を知
ってもらいたい」と話した。
世界文化遺産富士山の構成
資産である河口浅間神社など
も巡った。今回の体験はオシ
エルさんの交流サイト(SNS
S)で発信するほか、富士北
麓地域をテーマにした自身の
漫画制作に役立てるという。
〈鈴木なつ美〉

(2026年7月21日付 山梨日日新聞 16面)

問1

オシエル・ペルオさんは、富士山世界遺産センターで、何を学び、何を体験しましたか。

・学び: ・体験:

問2

地域の活性化に取り組む団体が、このイベントを企画した理由を教えてください。

.....

問3

今後、オシエル・ペルオさんは、この経験をもとに、どのような活動を考えていますか。

.....